令和６年度　事業報告書

自　令和 ６年 4月 1日

至　令和 ７年 3月 31日

公益財団法人　性の健康医学財団

令和６年度　事業報告書

公益財団法人　性の健康医学財団

【事業概要】

令和６年度は、財団創立１０３年目の年であり、令和３年 10 月 22 日に実施した百周年記念式典の後、令和４年度に創立百周年記念誌を制作、財団の意義と歴史をとりまとめ、関係各所に配布し、財団百周年記念事業を無事終えることができた。

また従来から実施している各種普及啓発活動として、中高等学校へ赴いての性感染症出前講座、Ｅメールによる性の健康相談、性感染症予防活動に従事する医師、助産師、保健師、看護師、医療スタッフおよび学校で性教育を担当する養護教諭ならびにカウンセラー等を対象とした性感染症最新講座などの様々な事業を実施した。

１　第２４回「性の健康週間」事業の実施

令和 6 年 11 月 25 日から 12 月 1 日までの 1 週間を「第 24 回　性の健康週間」として位置付けホームページ等で周知した。

2　性の健康相談事業

Ｅメールによる性の健康相談

性に関する様々な相談メールに対し、適切な助言・指導を行った。

令和 6 年度の相談メールは、147 件。

3　青少年の性感染症予防のための情報提供事業

若者世代へ性感染症予防に関する情報を提供することを目的に、ホームページを随時更新し情報提供を行った。

4　その他の普及啓発活動

（１）機関誌「性の健康」の発刊・配布

機関誌通巻５６号から６０号を発刊し、会員及び関係機関等に配布した。

なお夏号は配布先を拡大し、全国の中学校・高等学校へも配布した。

（２）性の健康医学に関するホームページ

性の健康情報に関する財団のホームページにて、医師、保健師等医療関係者、養護教諭等学校関係者、一般市民、製薬会社、郵送検査事業等関連事業者それぞれに益する最新情報等を公開した。

（３）第１６回臨床現場のための性感染症最新講座の開催

テーマ：高齢者の性

医師、医療従事者、教育関係者、その他関係者を対象に、最新の知見や情報を提供し、感染症に関する予防啓発のため講座を開催した。

開催日時：令和７年１月１９日（日）１３時３０分より１７時００分まで

開催場所；東京科学大学医学部３号館

受講者数：３０名

講演内容：

開会挨拶　東京科学大学大学院保健衛生学研究科教授　松　﨑　政　代

講演１「花柳病予防会の淵源と初代理事長　土肥慶蔵」　公益財団法人　性の健康医学財団　理事長　北 村　唯　一

講演２「日本の高齢者の「性」と「生」」　帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授　今　井　博　久

講演３「中高年の性の変遷」　田園調布学園大学名誉教授　荒　木　乳根子

講演４「人間は何歳までセックスが可能なのか～歴史に見る高齢者の性」　日本大学　総合科学研究所教授　早　川　　智

閉会挨拶　帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授　今　井　博　久

（４）第１７回医療従事者と養護教諭のため性の健康基礎講座の開催

上記（3）事業と合同実施とした。

（５）性の健康カウンセラー講座の開催

助産師、保健師、看護師、医療スタッフ、養護教諭など性の健康活動に

従事する者を対象とした医療従事者と養護教諭の資質の向上と相談技能の取得を目的として講座を開催した。

今年度は、WEB と対面を組み合わせて開催した。

受講者数：（基礎）８名　（応用）６名

（６）中・高校生等を対象とした性感染症（ＳＴＩ・ＳＴＤ）講座

全国の中・高等学校生等を対象として、教育現場に赴き正しい性感染症の予防と知識を講義した。

実施校：千葉県立大原高等学校、北海道稚内高等学校定時制、神奈川県立磯子工業高等学校定時制、天草市立本渡中学校、宮城県立白石工業高等学校、下諏訪町立下諏訪社中学校、埼玉県入間市立武蔵中学校

（７）一般社団法人 日本性感染症学会　関東甲信越支部研修会

日本性感染症学会　関東甲信越支部研修会における、医師、薬剤師、保健師・助産師・看護師、臨床検査技師、学校養護教諭などを主たる対象として、研修会等を行っている。

2024 年 9 月 - 10 月オンデマンド研修会にて特別講演を行った。

特別講演

性感染症　１００年の歴史

公益財団法人　性の健康医学財団　理事長　北村唯一先生

（８）全国保健師性感染症予防対策研修会

わが国の性感染症の感染率は、若い世代を中心に高い現状が続いているため、保健師や助産師等が性感染症の予防対策について、地域の住民や関係者に正しい知識を提供することが重要となっている。

このため、保健師や助産師等に対して、性感染症に関する研修を行い、性感染症の予防対策を強化することを目的として、令和６年度は下記の通り実施した。

開催日時：令和 6 年 12 月 26 日(木)　14：00～16：10

・場所：仙台市泉区役所（東庁舎 5 階大会議室）
・参加人数：96 名
・講話タイトル：『子どもたちの人生を豊かに育むための教育
～こころ・からだ・性のおはなし～』
・講義内容：これまで渡會先生が実践された性問題に関する取り組み紹介や調査報告、性感染症や人工妊娠中絶の統計情報、思春期について、など

（９）東京都 HIV・エイズ啓発拠点事業　エイズフェスへの参加

東京都エイズ予防月間に合わせ、東京都 HIV・エイズ啓発拠点事業「エイズフェス」が開催されている。約 30 団体のブース出展・ステー

ジパフォーマンスの１団体として出展した。
日時：2024 年１２月７日 場所：中池袋公園

5　調査研究事業

（１）「男性性器の HPV 年齢層別検出率の継続調査」

子宮頸がんの発生原因であるヒト・パピローマウイルス（HPV）については、一般健常女性の HPV 浸淫率はある程度明らかになっている。一方、HPV の保菌者ともいえる男性に関して年齢層別 HPV 罹患率は、未だ詳細が不明である。その男性の HPV 罹患率及びその型を調査することは学術的にも非常に意義があるため、調査を継続実施した。

（２）「女性性器からの HPV 自己採取検体郵送調査による全国調査」

子宮頸がんの早期発見、早期治療のための自己採取検体のＨＰＶの感染状況を調査し、さらに経年的に縦断調査として感染状況を調査した。

（３）「妊産婦に潜在する性感染症罹患率実態調査」

最近の性感染症は、臨床症状がなく無自覚のうちに一般市民の中にかなり広がっていると推測される、そこで日本産婦人科医会の協力を得て妊産婦の性感染症の実態検査を行い、調査し難い一般市民女子人口内に、広く潜在する性感染症疫学的実態を明らかにすべく.今年度は「妊娠中の梅毒感染に関する調査」として実施した。

（４）残存腟断端からの HPV 採取調査

子宮全摘後の腟に高リスク型 HPV が残存しているか否かを調査した。
東峯婦人クリニック、同愛記念病院の協力のもと実施。

6　性の健康医学研究推進のための助成

（１）　性の健康医学財団賞

財団創立 90 周年の記念事業の一環として、性感染症を始め性の健康を損なう諸要因を医学的に究明して性に関する医学技術の発展を図るため、性の健康医学財団賞を設けた。

本賞の研究課題は、性の健康分野、泌尿器科分野、産婦人科分野の　三分野それぞれの委員会において厳正な審査のうえ、理事長が決定するものであり、第 14 回目の令和 6 年度受賞者は以下の者と決定、10 月 22 日学士会館にて実施された授賞式において、表彰状及び金一封を添え表彰した。

令和６年度性の健康医学財団賞受賞者（肩書は受賞時）
〇産婦人科学分野 https://www.ginza-aster.co.jp/shops/05ochanomizu/
川　名　　敬　　小 林　　理
日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学分野
Phase I/II randomized clinical trial of an oral therapeutic vaccine targeting HPV for treatment of CIN2/3
JNCI Cancer Spectr
2023 Oct 31;7(6):pkad101. doi: 10.1093/jncics/pkad101.

〇性の健康分野　（該当論文無）

〇泌尿器科学分野
中　川　　朋　美　　地域医療機構　金沢病院　泌尿器科
Are bladder washing samples suitable for investigation of HPV infection in urinary bladder? Comparison in HPV prevalence between urine and washing samples
J Med Virol. 2023 Jan;95(1):e28110. doi: 10.1002/jmv.28110.

（２）日本性感染症学会との連携事業の一環として、学術奨励賞受賞者へ研究助成金（10 万円）を交付した。

7　役員会及び評議員会等の開催
（１）理事会ならびに評議員会
定款等に定める諸規則により必要に応じ実施した。

（２）監事監査
事業報告及び収支決算の監事監査を実施。

（３）常任理事会
事業実施に係る諸課題等について適宜実施。（年間 3 回実施）

令和６年度事業報告書附属明細書の作成について

令和６年度事業報告に関して「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和７年６月
公益財団法人　性の健康医学財団